

「今冬最大9基の原発稼働」

コロナ感染の拡大について首相は、「最大限の警戒が必要だ」との危機感を示し、4回目標種の対象をすべての医療従事者や、高齢者施設の職員ら約800万人に拡大する方針を示した。障害者施設の従事者へ

の拡大も検討する。来週以降に接種を開始する。まん延防止等重点措置など行動制限については「現時点で考えていない」とした。

また、感染が急増している10〜30代の若年層に、3回目ワクチンの接種を呼び掛けた。夏休み期間に、主要駅や空港に1000カ所以上の臨時の無料検査会場を増設して、帰省客や旅行者の移動による感染拡大を防ぐことも表明。政府は15日の対策本部で、これらの対策を正式決定する。一方、首相は「できる限

り多くの原発、この冬で言えば最大9基の稼働を進め、日本全体の電力消費量の約1割に相当する分を確保する」と述べた。

9基はいずれも原子力規制委員会の審査を通過し、一度は再稼働した原発で、政府関係者によると、関西電力大飯3、4号機、同美浜3号機、同高浜3、4号機（以上、福井県）、四国電力伊方3号機（愛媛県）、九州電力玄海3号機（佐賀県）、同川内1、2号機（鹿児島県）。うち14日時点で動いているのは4基。

首相は、電力消費のピー

ク時に余裕をもって安定供給できる水準をめざすとして、「火力発電の供給能力を追加的に10基をめざして確保する」ことも求めたといい。

また物価高対策の一環で、電気料金の負担軽減や食料品の上昇抑制策として、すでに予算措置されている予備費5・5兆円のなかから、7月中に措置することを表明した。

安倍晋三元首相が8日の遊説中に銃撃されて亡くなった事件について首相は、「率直に言って警備態勢に問題があったと考えている」と語った。首相が今回の事件の警備態勢の不備について言及したのは初めて。

「国家公安委員会、警察庁において問題を早急に洗い出し、具体的な対策を検討している」と話し、「世界各国の要人警護のあり方などとも照らしながら、全面的に点検をし、正すべきことは早急に正してもらいたい」と述べた。

内閣改造・党役員人事については「具体的なものはまだ決まっていない」と述べた。

（西村圭史）